

DAIMAN通信

2013 イベントご案内

- 3/15(金)、16(土) **ジャパン建材フェア** (東京ビッグサイト)
- 4/12(金)、13(土) **大萬 住設建材フェア** (泉大津市民会館)
- 9/7(土)、8(日) **ナイス 住まいの耐震博覧会** (インテックス大阪)
- 11/9(土)、10(日) **丸産業 住設建材まつり** (インテックス大阪)



※2012年11月の情報に付、変更がある場合があります。

新商品情報 パナソニック 新規格の内装建材「Archi-spec (アーキ・スペック) シリーズ」発売

新築やリフォームを検討する際には、「光や風を取り込んだ明るく広々とした空間にしたい」「好みに合わせて自由なインテリアを実現したい」など、多くの方が望むもの。最近では、インテリア空間を構成する床材や建具など、建材メーカーからも多種多様なタイプが提案されており、さまざまなコーディネートが可能になってきています。

パナソニック 株式会社 エコソリューションズ社からの新しい提案は、限られた空間をより広く、自由に活用する、新規格の大型上吊り「引戸」を中心に、無垢材の表情の美しさを追及した「床材」、自由に演出できる「収納システム」などで構成された内装建材の新シリーズ「Archi-spec(アーキ・スペック)」。

特徴的なのは、大型上吊り引戸「Archi-spec HIKIDO」。最大天井高2500mm、開口幅1200mmに対応した大型の上吊り引戸。従来の「内装ドア」に留まらない「動く壁」というコンセプトで開発したものと、扉を開閉することにより、間取りを変えたり、採光や通風をコントロールすることも可能です。また、枠の見えがかりを最小限にした「かくし枠納まり」によって、シンプルで無駄のない、美しい空間が実現します。軽く開閉できる上吊りタイプなので、2枚、3枚扉でも、連動機構で簡単に動かすことも。鉄芯を扉内部に組み込んだ反りにくい新構造を採用しているのも特徴でしょう。また、「Archi-spec YUKA」は、無垢材の表情の美しさ

と高性能を備えた床材。無垢材の表面を再現したシート仕上げ8柄と、独自の木質処理で木目や肌合いを強調した突き板5色の計13柄がラインアップされています。使い込まれた木の床の素朴さや清々しさなど、無垢材の深い味わいの表現を追求。また、天然木では入手するのが難しい広幅の希少な柄をシートで再現したとか。汚れや傷に強いのはもちろん、水やアンモニアにも強い高性能な床材です。

「Archi-spec SHUNOU」は自由に演出できる収納建材。幅1150mmの棚板はロングパンながら、最大荷重は40kg。すっきりと壁面に納まり、本に限らず、薄型テレビなども、棚板のたわみを気にせず置くことが可能。幅は1mmピッチでサイズオーダーすることもできるので、壁面にぴったりおさめることもできます。

また、HIKIDOを組み合わせれば、「隠す収納」と「見せる収納」など、自由にプランニングすることが可能。

Archi-spec (アーキ・スペック) シリーズは、2012年12月3日発売!



今月の注目商品! Bulls防災グッズ【期間限定商品】 東北を応援します!

Bulls 防災グッズ

※商品の売上の一部を義援金として寄付します。

- ① 緊急用バックパック: 緊急時の持ち出しに便利な、防災用品が揃ったバックパック。
- ② 携帯ラジオライト: ソーラー充電、携帯電話充電機能、サイレン付き。
- ③ 救急用品: マスク、包帯、絆創膏等。
- ④ 緊急ミニトイレ: タオル、ポケットティッシュ、使い捨てカイロなど、27商品を復興応援SALEとして、限定1000セットを販売。
- ⑤ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。
- ⑥ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。
- ⑦ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。
- ⑧ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。
- ⑨ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。
- ⑩ 防災グッズ: 防災グッズの定番アイテム、防災用品が揃ったバックパック。

ジャパン建材プライベートブランドの「Bulls」より、手動式ラジオライト(ソーラー充電、携帯電話充電機能、サイレン付き)、救急用品(マスク、包帯、絆創膏等)、緊急ミニトイレ、タオル、ポケットティッシュ、使い捨てカイロなど、27商品を復興応援SALEとして、限定1000セットを販売。売上の一部は義援金として寄付されます。価格等は、担当営業マンまでお問い合わせ下さい。

業界情報 9月着工 4カ月ぶりの増加に

国交省が10月31日に発表した9月の新設着工戸数は、前年同月比15.5%増となる7万4176戸。持家・貸家・分譲住宅が増加に転じたため、総戸数としては4カ月ぶりの増加となった。季節調整済年率換算値は86万5524戸となり、多少の揺れを伴いつつ緩やかに持ち直しの動きが継続していると見られる。

利用関係別にみると、持家は2万8125戸(前年同月比12.6%増)で、3カ月ぶりに増加した。公的資金によるものは減少が続いているが、民間資金によるものが増加し、持家全体では増加となった。貸家は2万6253戸(同35.4%)。

持家同様、公的資金によるものは減少したが民間資金によるものが増加したため、3カ月ぶりに増加に転じた。

分譲住宅は1万9410戸(同4.8%増)、マンション・一戸建ともに増加。構造別では木造が4万3017戸(同17.3%増)工法別では軸組木造が3万2201戸(同12%増)となり、いずれも3カ月ぶりに増加した。

